

Sense Island -感覚の島- 暗闇の美術島 2022

会期中イベント、グッドデザイン賞受賞のお知らせ



Sense Island メインビジュアル

会期中イベントのご案内

開催まであとわずかとなった3回目のSense Island。

3回目となるSense Islandは「Behave（感覚行動）」をテーマに、これまでと同様視覚や感覚を制限しながら、作品を通じてこの島に漂う様々な気配との出会いを創りだします。

会期中、島の中で開催する各種イベントもBehaveのテーマに基づき、暗闇の中で身体を動かすことや行動を促すとともに思考を動かしていくことを目的に、舞踊、音楽、ワークショップなどのイベントを開催いたします。

■会期中イベント *ご予約方法などの詳細は10月25日以降ウェブサイトのイベントページにて公開いたします。

①アーティストツアー

参加アーティスト、プロデューサーの解説つきツアー。毎回人気のイベントです。当日先着にて受付します。

11/20（日） 中村寛(アーティスト)

11/23（水祝） 齋藤精一(Sense Island プロデューサー/パノラマティクス主宰)

12/10（土） TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH(アーティスト)

②パフォーマンスイベント



日時：11/20（日）、12/18（日）*4便（19:00 三笠発）に乗船ください。

出演：梅川杏ノ介 横須賀の伝統芸能「浦賀虎踊り」から着想を得て創作したオリジナル演目を披露します。

東京バレエ団、国立劇場歌舞伎俳優養成課程を経て中村獅童一門に入門。坂東玉三郎との出会いに影響を受け舞踊家に転身。日本舞踊を基軸に国内外で日本舞踊の公演や古典、現代アート、オーケストラなどコラボレーションし公演を続けている。海外での公演や、海外文化交流などにも積極的に取り組み海外でも高い評価を得ている。

③音楽イベント



日時：12/3（土）、12/10（土）*4便（19:00 三笠発）に乗船ください。

出演：ermhoi（エルムホイ）

協力：竹川潤一（David Watts inc.）

日本とアイルランドにルーツを持ち、独自のセンスでさまざまな世界を表現するトラックメイカー、シンガー。映像作品やTVCMへの楽曲提供、ボーカルやコーラスとしてのサポートなど、ジャンルやスタイルに縛られない、幅広い活動を続けている。2018年に小林うてなとjulia shortreedと共にblack boboi結成。フジロック19'のレッドマーキー出演を果たす。

MONDO GROSSO、Maika Loubté、Sen Morimoto、東京塩麴など多くのアーティストの作品に関わっている。



日時：12/9（金）*4便（19:00 三笠発）に乗船ください。

出演：七尾旅人

協力：金秋雨（TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH）

シンガーソングライター。98年のデビュー以来、ファンタジックなメロディで世界の現実を描き続けて「うた」のオルタナティブを切り拓き、音楽シーンの景色を少しずつ変えてきた。パンデミックのなか放置された感染者や困窮者に食料を配送する「フードレスキュー」を継続しつつ完成させた2枚組ニューアルバム『Long Voyage』を9月14日にリリースした。愛犬家だが、犬に振り回されっぱなし。日々の情報はTwitterやnoteで発信中。

④ワークショップ

日時：12/18（日）

出演：梅川杏ノ介ワークショップ

会場：横須賀美術館

観音崎の海が見える横須賀美術館にて、舞踊の動きを通して自身の身体をあらためて感じる体験ができます。

※事前予約。詳細はウェブサイトのイベントページをご確認ください。

■グッドデザイン賞受賞のお知らせ

Sense Island 実行委員会は2022年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞いたしました。

Sense Island は、芸術祭という枠組みを超えた地域デザインの観点からも評価いただきました。

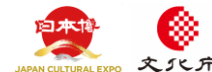
3回目の開催を控え、来場者の満足度を高めるとともに、横須賀に新たな地域デザインを提供できればと思っております。

審査委員からの評価コメント

作品から与えられるものではなく、作品を通じて、現代人が失いかけている五感を呼び覚ます体験。自身の感覚だけを頼りに島を歩く行為により、自然との接し方、歴史の紐解き方、感じるもの正体と必然と向き合うことになる。受け身になりがちな社会において、自分から情報を迎えに行くことの大切さ。現代人に必要な感覚を取り戻す場所として、首都圏・東京湾にある無人島という選択も見事である。感覚の島が、日常の隣にあることに大きな意味がある。地域ありきではなく、体験ありきでの場所。新しい地域デザインの形として評価した。

Sense Island 開催概要

- タイトル Sense Island -感覚の島- 暗闇の美術島 2022 (英語表記: Sense Island Sarushima Dark Museum 2022)
- 開催日時 一般会期 2022年11月12日[土]~12月25日[日] 会期中の金土日および祝日 *21日間
内覧会(予定) 2022年11月9日[水] *荒天の場合は11月11日[金]
- 開場時間 17:00-21:30
- 会場 横須賀市猿島(神奈川県横須賀市猿島1番)
- 料金 一般 大人(高校生以上)=3,700円 小・中学生=1,700円 / 横須賀市民 大人(高校生以上)=2,700円 小・中学生=1,200円
*小学生未満無料(要事前予約) *身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添人1名までは無料(要事前予約)
- URL <https://senseisland.com> 10月25日リニューアル予定
- 主催 Sense Island 実行委員会(横須賀集客促進・魅力発信実行委員会、株式会社アブストラクトエンジン、株式会社トライアングル)
- 助成 令和4年度文化資源活用推進事業
神奈川県川崎競馬組合が主催する「川崎競馬」の利益配分金を活用した神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金対象事業
- 特別協賛 株式会社 博展、パナソニックコネクタ株式会社、YAU | 有楽町アートアーバニズム実行委員会
- 協賛 住友重機械工業株式会社
- 協力 ArtSticker(株式会社 The Chain Museum)、ウシオライティング株式会社、エプソン販売株式会社
- 参加アーティスト(50音順・詳細は別紙にて): 齋藤精一、齋藤帆奈+脇坂崇平、TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH(梅沢英樹、オウ・シャオハン、川島崇志、金秋雨(ゲストキュレーター)、小山泰介、村田啓、森田友希、山本華、Ryu Ika)、中村公輔+中村寛+原田祐馬
- タイアップアーティスト 石毛健太(ArtSticker / 株式会社 The Chain Museum)、中村ゆめお(ArtSticker / 株式会社 The Chain Museum)、HAKUTEN CREATIVE
- パフォーマンスアーティスト: 梅川壱ノ介、エルムホイ、七尾旅人



全般お問い合わせ

Sense Island 実行委員会事務局(横須賀市文化スポーツ観光部企画課)
TEL 046-822-8427(平日 9:00-17:00) senseisland.yokosuka@gmail.com

広報用画像などプレスお問い合わせ

株式会社いろいろ 担当: 市川
press@iroiroiroiro.jp
